

2009年5月12日

関係各位

主任 : 榎本博行  
世話人 : 越川孝範

## 総合電子工学専攻大学院ゼミナールのご案内

今回は外来講師をお迎えして「魔鏡」に関する講演をお願いすることにいたしました。「魔鏡」は古代から非常に不思議な現象としてとらえられてきましたが、現在ではその詳細が明らかにされると共にハイテク技術にも応用されています。釘宮先生は「魔鏡」の解明をするとともに実際に「巨大魔鏡」を制作して多くの方々に感動を与えてこられました。大変興味深い内容ですので、ぜひ参加してお聞きいただく様をお願いいたします。

尚、総合電子の大学院生は必須ですから必ず出席してください。

### 記

1. 日時 : 2009年5月26日 (火) 午後5時より
2. 場所 : J-515
3. 講師 : 釘宮公一 (大阪大学 特任教授)
4. 魔鏡 : ハイテクに魅せる古代のロマン

紀元前から伝えられている魔鏡は、魔鏡技術 : MAKYOH TOPOGRAPHYとして、今やIT時代を裏方で支える基盤技術として欠かせないものになっている。そのハイテク技術の紹介とともに、古典的な魔鏡の歴史、魔鏡の原理などを概説する。併せて、脈々と流れる日本のモノづくり技術の源流、職人的要素についても触れる。

以上